

弘前市誕生130周年特別企画
懐かしの風景
 —あの場所はいま—



▲大正12(1923)年頃

大正12年(1923)に建てられた「角は宮川デパート」。東北最初のエレベーター付きデパートで、さらに市内最古の鉄筋コンクリート造として話題を呼びました。

#7
土手町



▲現在

かつて「角は宮川デパート」が立っていた場所には現在マンションが立っています。ビルも増えましたが、交差点や道路から昔の面影を感じることができます。

地域おこし協力隊の
活動報告 File.7

地域活性化のために日々活動している「地域おこし協力隊」の隊員の活動を毎月紹介します。
 ■問い合わせ先 企画課 (☎ 40-0632)

東京では時計の修理やサラリーマンをやりましたが、次第に修理することよりも、部品や工具を作ることに気持ちが惹かれて転職を考えました。そこで、時計づくりのために金属加工を学ぼうと職を探していた時に、たまたまインターネットで求人ページを見つけたのが地域おこし協力隊との出会いです。求人ページを見つけた2日後が応募締切だったため郵送では間に合わず、次の日に新幹線に乗り弘前市役所に向かったのを覚えています。

活動内容は、津軽打刃物の技術習得とPR活動です。主に二唐刃物鍛造所にて技術習得のための修行の日々を送っており、参加できる催事があれば各地へ赴きPR活動をしています。日々の修行では、材料切りから柄付けまで、全て手作業の



私が平成30年に活動を開始して約1年半。これまでを振り返りながら、地域づくりへの思いをつづります。

地域おこし協力隊(打刃物職人)
丸山敦史さん
 (東京都出身)



刃物づくりを一から学んでいます。一人の人間が全行程を通して担当できるというのは現代の刃物づくりの現場では珍しいことだそうで、いろいろな作業に興味のある自分にとってはとても恵まれた環境だと感謝しています。



津軽打刃物の知名度は低く、弘前市民でさえ存在を知らない人もいます。残された活動期間の中で、さまざまな土地でのイベントや催事などに積極的に参加し、どうにかして他の刃物産地に負けないくらい知名度をあげていきたいです。

弘前にきて1年と少し経ちました。東京と比べて商業施設は少ないと思いますが生活はしやすく、市街地から少し離れば自然豊かでとても良いところだと思います。やりがいのある仕事にも恵まれたので、あとは雪に慣れることさえできたら何も言うことはありません。

Best Shot! **フォトコロ** ひろさき

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします★

ファッション甲子園 最終審査会



8月25日 市民会館(下白銀町)大ホール

デザイン画による一次審査を突破した各校が、ファッションショー形式の公開審査に挑み、デザイン画を基に制作した衣装を披露しました。審査の結果、約2,400枚の赤と黒の折り紙を衣装に組み込んだ岡山県立岡山南高等学校の作品「UNIT」が優勝を飾りました。

弘前ポスター展ワークショップ



8月19日~22日 まちなか情報センター(土手町)

高校生・大学生が土手街商店街のポスターを制作するワークショップが開催されました。参加者は、広告の第一線で活躍する講師のサポートのもと、熱心に取り組んでいました。

ロボット・ワークショップ



8月31日、9月7日 大谷幼稚園(新寺町)

ロボットを組み立て、動作をプログラミングするワークショップが開催されました。参加した子どもたちは、ロボットがうまく動くように試行錯誤を重ねていました。

弘前駅オープンデッキイベント「EKIDEKI」



9月7日・8日 弘前駅(表町)2Fオープンデッキ

森・函館観光キャンペーンイベントとして開催されました。「津軽に触れる」をテーマにした語り部による津軽弁での昔話や津軽三味線の演奏に、居合わせた人が耳を傾けました。

まちなかキャンパスプロジェクト



9月14日 コーニングスペースHLS弘前(土手町)

これからの弘前を担う人材育成事業として、商店街に若者があふれる仕組みを考えるワークショップが開催されました。参加した高校生と大学生が若者らしい発想で地域の未来を考えました。